

# 県連ニュース

2022年3月 NO-536号



『スノーモンスター ライトアップ in 蔵王』

## 滋賀県勤労者山岳連盟

## 2022年 3月号 目次

巻頭言	3
案内・お知らせ	
第46回定期総会案内	4
「安全登山のための講習会」	5
初級登山教室実施要領	6
個人山行ステップアップ比良	7
報告	
第10回理事会(ZOOM併用)報告	8
2021年度第2回代表者会議・第11回理事会報告	10
交流山行三雲城址ハイキング	13
交流山行比良山系・鷹岩～牛山	14
冬山基礎講座 八ヶ岳・権現岳	15
ぐうたら会長のつぶやき	18
3—5月 行事予定表	19

表紙の写真：『スノーモンスター ライトアップ in 蔵王』

撮影日：2022年2月11日(金)

撮影者：彷徨倶楽部／本田宣道氏

## 何で山に登るねん

ちごゆり山歩会 目片正夫

山に登り始めて50年余りになります。我ながら長く続けられたものだとほとほと感心しています。当初、登山に関してよい印象を持っていませんでした。大学山岳部のしごき事件が報じられ遭難事故で救助隊や家族関係者に大変な心配や負担をかける等暗いイメージを持っていました。大阪駅のコンコースで夜行急行「立山」や「きたぐに」の立て札を先頭に横長のキスリングを床に置き長蛇の列をなして並んでいる人たちを見て、なんでこんなしんどいことをするんだろうと思っていました。しかし今の職業に飽き足らず将来を見据え、これからの発展が期待される仕事が変わろうと思い、ある企業から内定の通知を受けました。希望がかなえられたのですから、そのまま転職すればよかったです。いざ今の安定した職業(公務員)を捨て新たな荒波の中へ入っていくとどうなるか、最後の決断ができず断念しました。それからしばらくの間、頭の中が空白状態となり何もすることなく無為に時間が過ぎていきました。目標もなくぼーっとしていたら身体によくない、何かしなければと思い、初めて裏山(音羽山)をひとりで登りました。それまでは職場の親睦や友達に誘われ連れて行ってもらう程度で特段印象に残ることはありませんでしたが、夏の暑い中を汗をかきながら頂上に立つと眼下に琵琶湖や周辺の山々が地図を見ているように眺められます。今まで経験したことのない達成感や感動を覚えました。それからは頂上から見た山々がどんな山なのか次々と興味が湧き近くの湖南アルプスや比叡山をガイドブックをたよりに歩き始め京都北山や伊吹、鈴鹿へと興味が広がっていきました。当時の地図は5万分の1が多く今と比べると大雑把で時々思わぬところへ出たり、北山には今のよう林道がなく木材搬出用の木馬道が随所に残されており高度恐怖症におびえながら慎重に渡ったりしました。

いつまでもひとりでは心細く又、しっかりした技術、能力を身に着けようと山岳会に入ろうと思いましたが山岳雑誌に載っているような山岳会はどれも精鋭的で勇ましく初心者が気楽に入れるようには思われませんでした。そのような時に大津市の歩こう会主催のリトル比良山行に参加した際に労山山岳会の案内をもらい入会させていただきました。冬の雪洞での宿泊や夏のアルプス登山での仲間との交流等一人では味わえない山行を楽しむことができました。

今まで長年にわたり山歩きが続けてこられたのは何なのか振り返ってみると、私の場合は山に対する探究心、まだ経験したことのないものに対する新たな出会いと自然の中で樹木や草木に触れ谷川の音を聞きながら身心が癒されることにあったと思います。ガイドブックは主だったポイントや山の特色を説明していますが、道中のすべてを表しているわけではありません。実際に登ってみてすごく感動する場合やその反対に落胆する時もあります。それは体験して初めて解ることです。

人間社会で起こる個々の問題・トラブルに対し自然の中に身を置くことで一瞬でも悩み事から離れ身心をリフレッシュさせることができ、それが問題解決の新たな発想につながるものと思います。

幸いにも最近は大きな悩み事はありませんが、これからも身体が元気である限り新たな出会いを求め続けて行きたいと思います。

## <案内>

### 第 46 回定期総会開催の案内

コロナ禍の下ではありますが、第 46 回定期総会を開催します。

総会は、会員が代議員として参加できる唯一の議決機関です。みなさまの活発な意見で、これからの滋賀労山の発展にお力をお貸してください。従来 of 活動にとらわれず、創意を発揮して新たなチャレンジを試み、登山文化の多いなる発展、仲間を増やす活動を優先して進める決意です。

下記日程で開催します。つきましては、ご多忙とは存じますが、御出席をお願いいたします。

#### 記

#### 滋賀県勤労者山岳連盟 第 46 回定期総会

- ・日時 2022年3月6日(日)午後1時30分～午後3時30分(予定)
- ・会場 大津市ふれあいプラザホール 5階 大会議室  
(大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 077-527-8351 )
- ・議題 第 45 回活動報告、第 46 回活動方針(案)  
第 45 回会計決算報告、同監査報告、第 46 回会計予算(案)

所属会に案内状と委任状をメールで送信します。

委任状出席・参加の返信先 宮内 宛 070-9002-3325

[m-miyauchi@ares.eonet.ne.jp](mailto:m-miyauchi@ares.eonet.ne.jp) までお願いします。

会議を短時間で終了するため、事前に議案書・資料集をPDF配信いたします。

出席の方には、当日印刷してお渡しします。

会議の進め方としては、例年のように、議案書(事業報告・計画案)・決算報告・予算案の説明は致しません。質問にお答えする形で、短縮を図る進行を予定しています。

<案内>

お知り合いに教えてあげてください。HPからも申し込みができます。



滋賀県勤労者山岳連盟 主催 第3回(2022年)

## 「安全登山のための講習会」

山岳会の経験者がお話しします。お気軽にお越しください。参加費 無料

日時 2022年3月6日(日) 午前10時～11時30分

会場 大津ふれあいプラザ 5階 大会議室

大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 077-527-8351

内容

- 1.「ハイキングの楽しさ」
- 2.「テント泊の楽しさ」
- 3.「山岳会に入るメリット」

質問コーナーも準備します。

経験者からアドバイスが聞けます。

QRコードから申し込み出来ます。

申し込み(問い合わせ) 滋賀県勤労者山岳連盟 mail:shigarosan@gmail.com

または 070-9002-3325(宮内)

定員 30名 (定員になり次第 締め切り)



<案内>

## 2022年度 初級登山教室実施要項

### 開催の目的

安全登山を行うために必要な知識と基本技術を習得する。

### 1. 実施内容

県内の山域を中心に4月から1月にかけて（座学5回、実技10回程度）実施予定。

#### ① ハイキング・縦走・バリエーションルート

座学・実技（計画書の作成、読図、テント・ツエルト設営、レスキュー等）

#### ② クライミング・沢登り入門

座学・実技（装備、ロープワーク、登攀技術等）

#### ③ 雪山ハイキング入門

実技（スノーシューまたはワカン、アイゼン・ピッケル等の装着と使用）

### 2. 実施主体

県連教育遭対部 講師・スタッフは各会および外部講師から人選する。

講師・スタッフ（予定）

谷内（彷徨 主任講師）友永・川口（山友）村田・平山（岳友）川嶋（比良雪）信森（彷徨）他クライミング研究会会員

### 3. 実施計画（日時・場所等詳細は具体的な内容が決まり次第お知らせします。）

4月 オリエンテーション（座学）

日帰り登山 読図（実技）クライミング体験（座学・実技）（金毘羅）

5月 テント泊・読図（座学・実技）（比良）クライミング入門Ⅰ（実技）（しし岩）

6月 レスキュー入門（座学・実技）ツエルト設営 搬出等（比良）

7月 沢登り（座学1回・実技1回）（比良、鈴鹿その他）

8月 クライミング入門Ⅱ（座学）

9月 クライミング入門Ⅱ（実技）（金毘羅）バリエーションルート・読図（座学）

10月 バリエーションルート・読図（実技）（比良、鈴鹿）

クライミング基礎（実技）ロープワーク（しし岩）

11月 雪山ハイキング入門（座学）

1月 雪山ハイキング入門（実技）（比良、マキノ）

### 4. 参加対象者

登山技術・知識の習得に意欲がある労山会員。初心者・新入会員歓迎します。

但し、遭難対策基金に5口または同等の山岳保険に加入のこと。

募集定員10名程度

### 5. 受講料 1万円 ※実技50%以上出席者は5千円を補助予定。

但し、オリエンテーション・座学を除く各回実技の参加は1回2,000円とします。

6. 申込 県連教育遭対部まで、メールで受講申込みをしてください。

アドレス [shigarosan@gmail.com](mailto:shigarosan@gmail.com) 教育遭対部 宛 提出 締切 3月31日

受講申込書をメール添付でお願いします。

締め切り日までに指定のゆうちょ口座に受講料10000円を入金してください。

ゆうちょ銀行(店名418) 普通 0239956 名義 滋賀県勤労者山岳連盟

### 【受講申込書】

私は初級登山教室の開催趣旨を理解し、申し込みます。

氏名	男・女	生年月日	血液型	基金(保険)	加入
			年	月	日
口					型
住所	〒				
連絡先(携帯電話等)					
緊急連絡先	氏名	(本人との関係)			
加入山岳会	登山教室受講について要望等				

### おしらせ

#### 個人山行・ステップアップ比良山行予定

4月2日(土) リトル比良・鳶岩～牛山

5月14日(土) 雄松山荘道～釈迦岳～イン谷

6月11日(土) シロタ谷越～笹峠～横谷峠～畑

10月8日(土) アゼチ谷右岸尾根～小女郎ヶ池

11月19日(土) 畑周回(滝谷の頭)黄葉山行

2022年度のステップアップ比良山行の案内をします。

廃道やルートがハッキリしない場所もありますが一緒に「ステップアップ」しませんか  
申し込みは各山行実施日の10日前までをお願いします。

4月2日(土)リトル比良・鳶岩(とびいわ)～牛山

JR 山科駅 7:05＝JR 北小松駅 8:00 出発…鵜川出合 9:00…大岩下 9:40…鳶岩分岐 10:30  
…11:00 鳶岩 11:30…牛山 12:00…林道分岐 12:50…JR 北小松駅 14:00・解散

※申し込み〆切日は3月22日です。

申し込み先 [toyoda@eos.ocn.ne.jp](mailto:toyoda@eos.ocn.ne.jp) 滋賀山友会 豊田までお願いします。

<報告>

## 2021年度 第10回 理事会(ZOOM併用) 議事録

日時 2022年1月26日(水) PM7:00~8:30 明日都浜大津1F フリースペース

□出席者 友永・中島・池田・古川・田中・宮内

□欠席 平山・村田

□ZOOM参加 山元・川嶋・川口

### 議題

#### 1. 3/6 第46回定期総会 議案書 活動報告・活動計画案について検討

前回到引き続き、機関紙部、HPを検討した。CSS・スキネット記入済

2. 前回 田中) 現段階での予算執行状況から昨年よりも更に活動が出来ていないので、多額の繰越金が出る。

前回の議事録で1.2.3の提案をしたが、理事会の決定としては、

3. 会に還元(払い戻し) 単年度会計と考えるなら、会への還元が良い。

予算案を作成する。(各会還元額 算出基準 400円×6×11月末の会員数)

連盟費1人1か月400円は、変更しない。

代表者会議でも意見を聞くこととする。

宮内)

1. 一般紙に折込チラシを入れる場合 地域・部数 経費を調べる

★チラシ内容にしても、講習会やイベント案内を検討するのが先ではないか。

★広報紙を活用する。一般向けの山行企画を広報紙に掲載して参加者を募る。清掃登山で協力してもらっている米原市・野洲市・高島市・多賀町・大津市・東近江市などの広報紙を活用できないか。山を決めて各会に担当のお願いをするなど検討する。

2. HPを専門家に依頼した場合 新規HPの経費、月々の管理費

マニュアルがあれば管理が素人(会員)でも可能なHPにできるか 調べる。

★県連としては、各会のHPへ誘導するような内容掲載しかないと考える。

今年度、できるだけ各会と連携して、県連HP充実に協力をお願いしたい。

2. 3/6 講習会(総会当日午前中)の内容に関して、内容についての提案をお願いしたい。

タイトル「安全登山の講習会」(案)

内容「ハイキングの楽しさ」仲間と登る楽しさ、服装・登山靴・持ち物など

「テント泊の楽しさ」縦走・ベースキャンプ泊・

講師案 山友会(友永・金原) 雪稜会(今村) ちごゆり(柴田)

#### 4. 各部からの報告

機関誌部・・・県連ニュース3月号(2/15ㄨ切)



○リレーエッセイ(ちごゆり) 表紙写真 ( )

○その他 交流山行 (1/22 山友会 1/23 ちごゆり)

自然保護部・・・10/11 赤坂山実施済(報告未提出) 11/23(実施の報告を)と3月予定  
組織部・・・

○12月末の会員数

山友会 59/57 岳友会 33/33 雪稜会 44/44、ちごゆり 15/16、彷徨 10/10、シャクナゲ 5/5  
(男 29+女 30) (19+14) (25+19) (8+7) (6+4) (3+2)

合計 166/164 (2021.12/2021.11)

財政部・・・2/5 会計監査 2/16 までに予算案作成

教育遭対部・・・

#### 5. 県連保管の装備について(覚書)

貸出装備として考えられるもの 雪山(ゾンデ 6・ビーコン 4・シャベル 2)

スノーシュー3 輪かん 3 ハーネス カラビナ

総会に持参するもの 選別して廃棄処分 ロープ類 テント6人用2張 ターフ他

#### 6. 今後の理事会予定等

2月 5日 会計監査(シャクナゲ我妻さん、ちごゆり濱本さん) 財政田中・宮内出席

2月16日 第2回代表者会議 総会資料の最終案をまとめる。明日都浜大津 大会議室

3月6日 第46回定期総会 大津市ふれあいプラザ 午後～

同日 3回目「安全登山の講習会」 内容未定(会員拡大につながる内容を検討) 午前中

#### 7. 全国連盟他の会議予定等の連絡事項

○2022年2月19日～20 第35回全国連盟定期総会 (友永会長出席予定)

○近畿ブロック搬出講習会(4/3 岩のみ実施 10人程度、先着順) 各会希望者に事前連絡を

次回 2月16日(水) 第2回代表者会議と第11回理事会

19:00～20:30 明日都浜大津 1F大会議室



## 2021年度 第2回代表者会議 第11回理事会 議事録

日時 2022年2月16日(水) PM7:00～9:00 明日都浜大津 1F大会議室

□代表者 出席・山友会・豊田 雪稜会・西村 岳友会・重井 彷徨・谷内

欠席・シャクナゲ・太田・ちごゆり・柴田

□理事出席 友永・川嶋・村田・田中・中島・池田・古川・山元・宮内・川口(記録)

□欠席連絡 平山

### 検討経過および結論

#### I. 3/6 第46回定期総会 議案書(活動報告・活動計画案、決算・予算案)について検討

##### ☆ 活動報告・活動計画案について

雪稜会・西村→2021年活動報告の組織会員増大に向けての所で趣味としての文言は必要ないのでは？

また、大きく縮小したようではなくて、制限された又は縮小された方が良いのでは？

交流山行の件ですが、何回実施されて何人参加されたか書いてもらおうと良い。

A. 宮内 わかりました。

岳友会・重井→自然保護部の放射線量測定機器はどうされているのですか？県連所有？

A. 中島 全国連盟の機器を近畿ブロックが保管していて、その機器を借りて測定しています。

岳友会・重井→現在地を測定しても意味が無いのでは？風の向きを考えると伊勢湾方面を計測した方が  
良いのでは、比良の計測は一カ所で良いのでは？

また、計測結果はどの様になっていますか？

A. 中島 資料集に記載しています。

彷徨・谷内→自然保護の「美浜・新庄ウインドファーム発電事業」とは何ですか？

初めて聞くのですが。

これは、見守るの？反対するの？スタンスがどちらか分からない。

山友会・豊田→労山として反対とは記載しないのか？

A. 友永 県連としては特段反対の姿勢はとっていません、規模の縮小や工法の変更の要望を行  
い経過を観察している。現状関係ない所の伐採も行われているようだ。次年度も引き続  
き要望していく

雪稜会・西村→2021年全国登山者自然保護担当者会議は連絡が無く参加できなかったと有りますが、そ  
もそも担当者会議は有ったのですか？無かったのですか？

A. 宮内 問い合わせます。(コロナ禍、第5波のため自粛中止)

岳友会・重井→CSS・山スキーなどの県連としての山行計画が出された時のチェック機能はどうなってい  
ますか？誰がチェックしてるのですか？

遅くに下山したり、大幅に時間オーバーしたりしてるがどう考えているのですか？

A. 友永 県連に出てない計画書については確認できていません。また CSS 雪山基礎講座は参加  
する各人が所属する会に提出する様になっています。

代表者一同→それはダメではないか。補助をもらって活動している限り、遭難事故が起こった場合、県連  
にも許可した責任があるのではないか。

A. 友永 今後県連に提出してもらうようにします。

彷徨・谷内→CSS 岩トレ、山スキーに関しては県連(友永会長)に提出しています。

雪稜会・西村→県連の誰に出すのですか?2名位には出してもらう様にして下さい。

A. 友永 私と教育遭対部になると思います。しかし計画書の中から各人のスキルは判断できない。現状は山行後に話を聞いて知ることになっています。

## ☆ 決算と予算案について

彷徨・谷内→特別会計の清掃登山の繰り越し金が多いのではないか、

自治体からお金をもらうので、清掃登山の参加費徴収を辞めたらどうですか?

A. 宮内 10年毎に報告冊子を制作する必要があります。

雪稜会・西村 会員も協力金 200円出しているが。一般参加者だけ保険代 100円を徴収するにしているか?

代表者一同 その運営で良いのでは。

A. 宮内 今年度から会員の協力金はなし、一般参加者の保険代として100円徴収することにします。

雪稜会・西村→講習会をやったのなら2021年の活動方針報告に乗せるべきでは?教育遭対の所か組織の所か?また次年度も実施するなら2022年活動方針に乗せるべき。

A. 宮内 記載します。

山友会・豊田→今年の清掃登山は5月29日の1日ですか?

A. 宮内 県連としてはそうなります、例年3か所される会は、日程追加されても結構です。ちらしに日程を入れるだけです、日程が分散する方が、参加者も増えると思います。飯道山は、6月4日です。

## II. 会員拡大・勧誘方法の報告・提案と意見拝聴

★機関紙の行事予定表をHPに公開して、体験山行の問い合わせを増やす。

★「座学入門教室」開講 一般募集 会員外は1回500円 会員無料

月一回 第2火曜日 午後7時~9時 会場・明日都浜大津大会議室

★各会から一般募集する山行があれば、県連のHPでも紹介させてほしい。

★滋賀リビングに 座学入門教室、清掃登山、登山祭典等の広告記事掲載を検討  
2/15 広告代理店と会った。

広告広告料 5.5cm×12.5cm 1回 55000円(税込み)

エリア 大津市、草津市、栗東市、守山市、野洲市

折り込みチラシ1枚3円(持ち込み可能)

★各市の広報紙に掲載依頼。そのためには、2か月前には内容の決定が必要  
各市の山行企画が必要であり、各会の協力が必要である。

大津市、東近江市、野洲市、栗東市、米原市、草津市、など

★BBCで取り上げてもらえる内容について、BBCとも会う予定。

★滋賀民報に依頼する。 2/27 発行分に3/6 講習会掲載予定

清掃登山・登山祭典・交流山行等も掲載 快諾してもらう。

### 全体

宮内→滋賀リビング新聞社に広告を掲載したい。

A. 代表者 やってもらったら良いと思います。

岳友会・重井→滋賀県内のどの辺りに配られるのですか?見たことないので

A. 宮内 大津市・草津市・栗東市・守山市・野洲市 個別配布で14万部発行しています。

### Ⅲ. 講習会(総会当日午前中)の内容に関して、HPアップ済 各会から知り合いへ宣伝のお願い。

3/6 午前10時～11時30分 大津ふれあいプラザ5F

タイトル「安全登山の講習会」

内容「ハイキングの楽しさ」「テント泊の楽しさ」「山岳会に入るメリット」

講師案 山友会(友永・金原) ちごゆり(柴田)

## 2021年度 第11回 理事会

代表者会議終了後 続いて 20:30～21:00

### 1.総会について、

当日 午前の講習会から出席

友永・池田・川口・古川・田中・川嶋・村田・山元・宮内

午後総会からの出席 中島

総会役割分担 担当 司会・山元 記録・古川 写真・川口

欠席 平山

### 2.各部からの報告

機関誌部・・・県連ニュース3月号(2/15ㄮ切)

○リレーエッセイ(ちごゆり) 表紙写真(彷徨) 受領済

○その他 交流山行(1/22山友会 1/23ちごゆり) 受領済

自然保護部・・・10/11赤坂山実施済(報告未提出) 11/23(実施の報告を)と3月予定

組織部・・・

○1月末の会員数

山友会 59/59 岳友会 33/33 雪稜会 44/44、ちごゆり 15/16、彷徨 10/10、シヤクナゲ 5/5

(男 29+女 30) (19+14) (25+19) (8+7) (6+4) (3+2)

合計 166/166 (2022.1/2021.12)

財政部・・・特になし 教育遭対部・・・特になし

### 3. 県連保管の装備について

貸出装備として考えられるもの ゾンデ6・ビーコン4・シャベル2 スノーシュー4 輪かん3

廃棄処分 ハーネス カラビナ

総会に持参するもの 選別して廃棄処分 ロープ類 テント6人用2張 ターフ他

### 4. 今後の予定等

○3月6日 第46回定期総会 大津市ふれあいプラザ 午後～

同日 3回目「安全登山の講習会」 午前中

○2月19日～20日 第35回全国連盟定期総会 (友永会長出席予定)

○4月3日 近畿ブロック搬出講習会(岩のみ実施)参加予定 山友会・長谷川

次回 3月6日(日)第46回定期総会 13:30～15:30 大津ふれあいプラザ5F大会議室

<交流山行報告>

三雲城址ハイキング

日時 2022年1月23日(日)曇り ちごゆり山歩会  
参加者 柴田(英)、柴田(久)、田村、目片、平野、高谷、嶋本、高山(雅)、  
高山(智)、長尾(比良雪)、藤野(比良雪)、前田(山友会) 計12名  
行程 JR三雲駅南口～妙感寺～山道～三雲城址口～山道～八丈岩～三雲城址～山頂～  
9:40 12:10～12:50  
三雲城址観光案内所～弘法杉～JR三雲駅南口  
13:15 14:20

報告 JR三雲駅に9:30集合。会長の挨拶の後、他の会の方が3名参加されていたので軽く自己紹介。準備体操、コース案内をして出発。荒川沿いに立志神社、妙感寺と1時間ほど歩き見学。お寺の観音様のおだやかなお顔、池の水の透明度に感動。

妙感寺の横から城へ抜ける山道の途中大きな岩に掘られた摩崖仏に手を合せ、ここでも感動。三雲城址入口に11:20。登っていくと、落ちそうで落ちない八丈岩の大きさに感動。巨岩に刻まれた「四つ目結」の家紋を見て土塁を歩き、穴太積みの柵形虎口、石垣の矢穴、穴太積みの井戸を経て、スカーレットのロケ地から琵琶湖上に出来た雲海に感動。お昼になったので、素晴らしい景色を眺めながらの昼食。1時前に城址を後に林道を歩き、三雲城址観光案内所で休憩。池の水が凍っていました。

車道を下り、住宅の横に入り、天井川を横に見ながら弘法杉へ。大人が5人で囲むほどの大きさに感動。大砂川隧道から旧東海道を歩いて、駅に着き解散する。感動連続の例会でした。

記 嶋



八丈岩の前で



琵琶湖から比良連峰



三上山の向こうに比良連峰を望む



## <県連交流山行報告>

山友会オールラウンド山行部例会

### 比良山系・鳶岩～牛山

日 時：2022年1月15日（土）

参加者：CL 豊田、宮内、前田、H島、K林、記録N村 6名

行 程：JR 北小松 8：20～堰堤横・衣服調整 9：05～鶴川出合・ワカン装着 9：25～標高 271m 休憩  
9：55～鳶岩分岐 10：55～標高 518m 休憩 11：35～11：55 牛山・昼食、集合写真 12：25～  
林道 1 回目休憩 13：50～林道 2 回目休憩 14：50～滝山登山口 15：05～JR 北小松 15：25・  
解散

報告：JR 山科 7：05 発、JR 北小松 7：45 着の電車に乗り、8：00 出発の予定が、山行計画に 8：20 出発と記入ミスがあり、参加者 6 名のうち 1 名が 8：15 着のため、スタートが 8：20 となる。待ち時間の間に、コース説明と各自でストレッチを行う。6 名そろい、JR 北小松を出発し、国道 161 号沿いの歩道を歩く。13 日夜から 14 日にかけて雪が強まり歩道には雪が残る。雪の上には鹿の足跡があった。雪の積もった伊吹山には太陽があたりとてもきれい。琵琶湖にはバス釣りをしているボート一隻



があり、「釣り人は、反町隆史に違いない！！」と冗談を言いながら歩道を進む。歩道を 25 分ほど歩いた後、左折する。左折後緩い登りになり、汗ばんでくる。防獣フェンスゲートを 2 回通過する。2 つ目のドアは雪で 30 cm ほどしか開かない。堰堤横で衣服調整。鶴川出合でワカンを装着、木に積もった雪が落ちてくるので雨具を着用する。藪漕ぎ雪山登山の始まりです。30 分ほど登ると藪から抜けて標高 271m 地点で休憩。次は鳶岩分岐を目指します。鳶岩分岐から鳶岩を目指すため、左方向にトラバースしたはずが雪のため、牛山山頂まで 50m のところまできていた。鳶岩分岐の手前まで戻り、鳶岩へ向かおうとするが、雪の積もった斜面が急で危険なため、残念ながら鳶岩は諦め、戻って来た道を再度登る。少し休憩する。牛山山頂までもうひと頑張りし、山頂で昼食と集合写真の撮影。牛山山頂は風が無く快適だったが展望はない。昼食の予定場所であった鳶岩からは琵琶湖の絶景が拝めるそうなので、鳶岩に行けなかったことがおしまれる。雪のない時期に再チャレンジしたい。牛山からの下山は、1m 以上の積雪があるように思われた。藪漕ぎの再開。50 分ほど歩くと沼か池の場所にてた。ウサギの足跡らしきものが、雪の上にあった。雪があり正確な沼の位置はわからず、危険なので端のほうを歩くが、絶好の写真ポイントで一列に並んで歩く姿をパチリ。沼から林道へ向かって急な下りがあったが、CL の豊田氏は「こんな下りはルンルンと行ける。」と言われ、後につづく。林道は、地図で確認したものの雪でわかりにくく、林道を通り越し、沢まで下りてきてしまう。CL の豊田氏が間違いに気づき林道まで戻り休憩する。林道で、N 村のワカンが二度も外れてしまい装着し直す。大変ご迷惑をおかけしました。2 回目の林道での休憩後、しばらく歩くと道を横切る鹿の白いおしりが見えた。滝山登山口を過ぎても雪が残り、ワカンをつけたまま歩くことができた。別荘地の犬はいつも吠えるそうで、今回も 4 頭の犬が吠えていた。JR 北小松に到着し、楽しい一日が終わりました。最後になりましたが、踏み跡のない雪道を交代で歩き、歩きやすくしていただきました皆さま、感謝しております。ありがとうございました。

# 八ヶ岳・権現岳

雪山基礎講座2022(2)

木村敦子／比良雪稜会

日程:2022年1月22日(土)～1月23日(日)

講師:秋田 誠(彷徨倶楽部)

スタッフ:内田 厚(彷徨倶楽部関東)

受講生:塚本 正弘(滋賀山友会)、吉井 孝子(湖南岳友会)、其阿弥 道子(比良雪稜会)、  
木村 敦子(比良雪稜会)

行程:1/22(土) 守山駅 08:00-天女山登山口駐車場(車デポ)12:20～13:00-天女山駐車場(TS)14:00

1/23(日) TS 04:45-前三ツ頭 08:05～8:10-三ツ頭 09:10-権現岳 10:50～11:05-三ツ頭 12:25

-前三ツ頭 12:50～12:55- TS 14:40～15:20-天女山登山口駐車場 15:45

2022年雪山基礎講座が始まった。1回目に予定されていた中央アルプス・富士見高原は、まさかの雪大過ぎで中止。今回の権現岳も天候が危ぶまれたが1/20に実施が決まる。事前打ち合わせでは、受講生から頂上直下のトラバースへの不安が出る。へえ？そんなところあるの？秋田さんは「落ちようと思えば落ちれるけど、全然大丈夫～。」・・・このデジャヴ感。きっと大丈夫じゃない。

## 1/22(土)快晴

今回初参加の塚本さんの車で出動。ジェンカのように積まれた荷物はトランクを開けたら途端に崩れ落ちそう。雪山とは言え1泊ですよ？不安の大きさと荷物の量は比例する。長野に入った頃、誰かが「頂上まで行けるんですかねえ」とぼつり。そこへ被せる様に「夏山でもギリギリやと思う・・・」、「日の出前に出発ってあんまりなかったよね・・・」、「2時には帰路につきたい・・・」、と一同不安大爆発。「登頂には拘らない」事を皆で確認した。今回は内田さんが、生かさず殺さずペースで優しく引っ張ってくれるはず。「行けるとこまででいいよね～」とふんわりした雰囲気です。山梨に入る。フロントガラスいっぱい、富士山の姿が現れる。「富士山!」、「どこどこ?」、あまりのデカさに認識出来ない。関西人にとって富士山とは遠くにあつて拝むもの。右手には甲斐駒、仙丈が見える。山梨に入って雪の少なさに驚く。八ヶ岳なんて稜線の上部が白いだけだ。

集合場所の天女山登山口駐車場に予定時刻前に到着。辛うじて2台分が空いていた。人気のルートの様だ。早々と下山してくる人もちらほら。ほどなくして秋田さん達も到着。荷物を整え出発。今日はTSまで30分登るだけだ。しかし墓石の様なザックが堪える。コースタイム通りに天女山駐車場に到着。トイレは封鎖されていたが、とても広くフルフラット! アスファルト!! 2/3程は雪に覆われているが、生活スペースは完全にドライ! 素晴らしい。駐車場の白線に沿ってそれぞれのテント設営。

今回はそれぞれのソロテンで就寝、食事・座学にはファミリーテントを使用した。夕食前、ハーネスを付けスリング・カラビナを持ってファミリーテントに

集合し座学が始まった。内容は、事前に秋田さんより配信されていた資料に準じて進められ、雪山に必要なロープ操作、雪山の天気(高層天気図の見方)。車座に座り終始和やかな雰囲気です。ロープと絡まる。

その後、4時頃から夕食準備が始まった。今夜は「きりたんぼ入り味噌鍋」。吉井さんと其阿彌さんが種類豊富な具材を用意してくれた。びっくりするくらい美味しかった。そして恒例の「知らない人がいるといけないので、自己紹介を」が始まる。皆の自己紹介が濃い。陶芸家が1名。洞窟探検家が2名。母数7ですよ？多くの人はケービング(洞窟探検)の人に一生出会わないと思う。なのに、今この畳二畳分のスペースに二人。濃い。「ヘルメットが通ったら肩も腰も通るんですよ。」、「へえ？関節外し?」、「外しません。」・・・興味は尽きないが、「じゃあ明日は2時半くらいに起きて5時前に出ましようか」で解散となった。テント内は霜がびっちり付いていた。・・・日の出前出発? 「秋田さん、頂まで行く気ですか?」なんて聞ける筈もなく、黙って就寝。



1張り1区画



## 1/23(日)晴れのち曇り

予定通り2時過ぎよりガサゴソと音がし出す。大まかに荷物をまとめ、テントの外に放り出しファミリーテントに集合。行動用のお湯を沸かし朝食はトマトリゾットお餅入り。雪からお湯を作る際、どうしてもゴミが混じるのを、コーヒーのペーパーフィルターで濾過。こういう生活編も一つ一つ勉強だなあと感じる。地面がドライだからいいやと思って外に出していた荷物は一瞬で霜だらけ。これも学習。今日は、テン場に荷物を置いて日帰り装備で登る。アイゼン以外の装備を付け集合。秋田さんより、本日のオーダー、「内田さん、最後について下さい。」。・・・へえ？内田さんトップじゃないの？優しいペースじゃないの？・・・厳しい一日になりそうだ。4時45分スタート。

気温はかなり下がっていると思うが、風がないので寒さはさ程感じない。早々に衣服調整を行う。ヘッドライトの揺れる光から、徐々に木立がはっきりと見えてくる。雪面がうっすらとピンク色に染まってくる。振り返れば富士山。急登に喘ぎながらも、振り向いては「めっちゃ、きれい〜」(語彙力)と感嘆する。



朝陽が暖かい。まだ始まったばかり。



振り返ればいつもそこに富士山。

急登が終わらない。ごぼう抜かれながら、前三ツ頭を目指す。登る斜面の上を見上げる戸木々の間に空が見えてくる。もう少し、あそこまで、とがんばる。この繰り返りでやっと着いた！けどまだ前三ツ頭。こっそり第一目標としていた三ツ頭はまだ先だ。右手には夏に登った真教寺尾根が間近に見える。次は三ツ頭を目指す。一つひとつ超えて行くピークが大きくて大変だ。雪山は一步が重たいとつくづく感じる。登り切り、吹きさらしの場所に出た。三ツ頭だ。ザ・ハヶ岳な猛烈な風にさらされる。顔が痛い。前方に編笠山、権現岳、赤岳が見える。白と黒のコントラストが厳しさを物語る。ここからピッケルに持ち替える。風は強いがトレースはガッツリとついており、歩きやすい。権現岳直下は絶壁に見えますけどあそこ行くの？登れるの？と思う。淡々と進み、例の直下のトラバース地点に着く。確かに、登る人下りる人で渋滞気味だ。下から見ていると、さほど怖そうでもない様に見えるが、その場に立ったら怖いんだろうな・・・。



赤岳、権現。美しいやら厳しいやら。



権現岳山頂。赤いウェアの人達。  
(マムート風？マムートひとりもおらんけど。)

我々はトラバース地点の数m下に固定ロープを張り、「固定ロープをトラバース」の实地訓練を行う。前日の練習の成果か、スムーズに安全に通過出来た。権現岳山頂は、すぐそこだ。・・・着いてしまったなあ、権現。赤岳、阿弥陀岳がすぐ目の前に見える。帰りも「せっかくなんで」と固定ロープを使って下山した。



後はひたすらすたこら下りるだけだ。途中、先に下山していた塚本さんに秋田さんが電話を入れる「後、450mくらい下ったら着くので40分位かなあ」・・・。へえ？40分？そこから内田さんペースアップでぐいぐい下りる。駐車場が見えた。テントがきれいになくなっている。塚本さんが手を振ってくれている。全力で振り返す。ただいまー！ファミリーテントを一人で撤収してくれた塚本さんに感謝。大急ぎでパッキングをし、何故か来た時より膨れ上がったザックを背に下山した。パンパンのザックを車に押し込み、バタバタと帰路についた。中津川は雪だった。

### [ひと口感想]

☆初めて参加した今回の講座、テントでの講習ではハーネスとロープの結び方やカラビナの使い方など実践的に教えて頂き、高層天気図の見方なども深めることができました。また、真冬のテント泊は寝られるか心配していましたが、重ね着をしてほどよい暖かさで寝ることができました。実際の登山では、途中でバテて前三ツ頭までで引き返すことになりましたが、アイゼン歩行のやり方を練習したり、頭を上げると霞に浮かぶ富士山や南アルプスの絶景を観ることもできました。今後はもう少し体力をつけ、雪山の知識や技術をしっかりと身につけていきたいと思います。秋田さん、みなさん、ありがとうございました。(塚本)



急登の中ちょっとひと息

☆お天気と雪のコンディションに恵まれ、前には八ヶ岳の山々、後ろを振り返ると富士山といった絶景に癒やされながら権現岳に登頂することができました。頂上直下のトラバースが心配でしたが、深い雪の斜面にロープを張って頂いて、固定ロープの通過技術を確認する事ができ、とてもよい経験になりました。お世話になりました。(吉井)

☆富士山をずっと眺めながらの贅沢なコースでした。三ツ頭までの急登の苦しさも上がりきり目の前にどーんと赤岳、権現の素晴らしいパノラマが広がった瞬間消え去りました。雪のない季節にもまた挑戦したいコースでした。(其阿弥)

☆樹林帯を抜けて、白と黒の景色が目飛び込んで来た時、「来たなあ〜」と、この景色、この感じ、久しぶりやなあと思いました。権現山頂は無理かなと思っていたので、立てたのはご褒美感いっぱいでした。(木村)



赤岳(右)、阿弥陀(中)、権現(左)を望む

☆みなさん変化する雪質によく対応して、安全なアイゼン歩行が出来ていました。雪山では積雪によってルートが大きく変化します。無雪期は楽に通過できる箇所が難場になったりすることは珍しくありません。固定ロープ通過の技術は雪山登山では必須のものなのでよく復習してください。また、山に登った日の天気図を眺め、実際に現地で体験した天気の様子と比べる習慣をつけてください。気象判断の力が確実に向上します。(秋田)

## ぐうたら会長のつぶやき

会長 友永芳和

オミクロン株の感染が大変な勢いで拡大しています。幸い感染力は強いが重症化リスクは少ないと言われていています。ワクチンを接種したからといって、感染しない事も無く、感染を広げない事もないようです。マスクをしたり、手洗いを徹底したりと感染対策をしっかりといきましょう。コロナウイルスがゼロになることはないと思います。インフルエンザと同じように上手にコロナに付き合っていきましょう。

感染対策をしっかりと山行も続けましょう。

「風雪のビバーク」と言う本をご存知の方は多いと思います。その中で「春の遠山入」と言う文章が好きです。春の南アルプスを一人で歩いた記録です。私の好きな部分を少しずつ紹介したいと思います。

書き出しは「知らぬ土地は頼りないものだ。飯田の町では様子を知らないため重荷を背負ったまま、さんざんうろつく廻った末、朝夕たった二回きりのバスを見事に乗り逃がして、とうとう伊那八幡からはるばる歩く羽目になってしまった。砂埃りの立つ平凡な路を、春とはいえ、照りつける陽の下を、重荷に汗を流しながら歩く気持ちは良いものではない。靴が新しいせいか、妙に足が摺れるのがいらだたく、軒昂たる意志もとみに失せて、歩くことが馬鹿馬鹿しくてならなかった。ただ山のかなたの目に見えるもの、それだけに引きずられて遅々たる行進をつづけた」……重荷に耐えつつ山に入る日の気持ちがよくわかります。私もなんでこんな重荷を持って山に行くのだろうと思いながら歩きます。

ビバークの日暮れにこんな事を書いています。「おお、光が失せていく、一日が消えてゆく。同じ山が、光が消えるとどうしてこんなにも重苦しいものにも変わるのであろう。薄明りの中に巨木が化物のように浮かび出ている。見上げる梢の方は薄暮の中に煙って、その隙間から覗く空はどんよりと暗い。生温かい風が音もなく吹き寄せて、原始の世のような不気味な静寂、何者とも知れぬ巨きなものがひしひしと押し迫ってくるような感じである。静けさを破るのをはばかりように、そうっとツェルトをかぶった。

恐ろしい夜であった。さわとも波立たない四辺の空気に、魂が一滴一滴吸い取られてゆくような気がした。この世のものとも思われぬこの闇の中に、自分のツェルトのみがほんのりと浮き出ていると思うと、たった一本の蠟燭をともしていることすらが無性に恐ろしかった。」……たった一人のビバークというのは、心細くてこんな気持ちになる事があります。

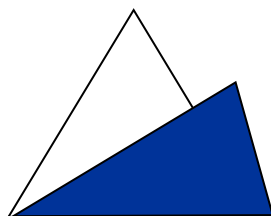
山小屋の窓を壊して中に入った時にはこんなことを書いています。「ああ破壊者、俺は小屋の窓を破るとともに、せつかくこれまでに作り上げてきたものを壊してしまった。今までたとえ天候が良くとも、万一悪天候に悩まされても、自分は死なないという誇りのもと、晴天を享樂しつつ辿ってきた。だが、それは根底のないものだったのか。ここまで来たことすら僥倖だったのか」……ある程度の自信がなければ雪山には行けません。だが時に自分の気持ちが山の大きさに負けそうになることもあります。その弱さが許せなかったのでしょうか。

山を去る日にこう述べています。「あの白く輝く岳の奥から鄙びた不可思議な旋律が風に乗って伝ってくる。それが無性に私を引きつける。これを見、あれを聞く時、山に行くのが苦しいから山に行くのではなく、また楽しいから行くのでもない。純粹に「一つのものを作り上げること」のみを目指して山に入れるような、氷のような山男となることのかに困難であるかをしじみと感ずるのだ」……氷のような山男ってどんな奴なんだと初めて読んだ時に思ったのですが、未だにその答えは見つかっていません。

### 3 - 5月行事予定表

月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名
				5	取立山	岳友
	6	第46回定期総会PM		5	福井 ホノケ山	彷徨
		講習会 AM		12-13	越前大日山～加賀大日山	彷徨
		(大津ふれあいプラザ)		13	梅花見	ちご
	11-13	妙高前山・佐渡山スキー(スキーネット)		13	養老山	雪稜
3	18-22	北海道十勝岳・旭岳山スキー(スキーネット)				
	18-21	雪山基礎講座(4)(CSS)				
		南アルプス・仙丈ヶ岳		20	鍋尻山/福寿草	岳友
				20	鈴鹿・釈迦ヶ岳～三池岳	山友
				27	湖南アルプス	雪稜
				27	比良山	ちご
	25-27	妙高ゲレンデスキー(スキーネット)		31	文珠山	雪稜
				2	沖島山花見山行	彷徨
	6	初級(オリエンテーション)		3	第51回定期総会	山友
	8-10	雪山基礎講座(5)(CSS)		3	堅田一本桜～仰木	雪稜
		北アルプス・大遠見山雪洞講習		3	京～近江のお花見	岳友
	13	初級座学(読図)比良山		3	お花見(桜)	ちご
	16	初級実技(読図)比良山		9-10	越前大日山～加賀大日山	彷徨
				17	大御影山～三重獄岳	岳友
	23	初級(クライミング体験)金毘羅		17	比良・比叡トレイル	彷徨
4				24	湖東三山	ちご
				29	八ヶ峰	雪稜
	29-2	月山山スキー(スキーネット)				
	1-4	雪山基礎講座(6)(CSS)				
		北アルプス・鹿島槍ヶ岳		8	迷岳/台高	岳友
	11	初級座学(テント泊・縦走)		15	ダイトレ 岩湧山	彷徨
				15	大谷山/比良	岳友
5	21-22	初級実技(テント泊・縦走)比良山				
				29	若狭 飯盛山	彷徨

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会  
 シャク:シャクナゲ溯行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部  
 スキーネット;山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀 初級:初級登山教室



2022年4月号の原稿は、3月15日〆切です。

原稿の投稿先は 古川 [tfurukawa@dj8.so-net.ne.jp](mailto:tfurukawa@dj8.so-net.ne.jp)

村田 [k-hiyake@hera.eonet.ne.jp](mailto:k-hiyake@hera.eonet.ne.jp)

用紙サイズは A4、フォントは本文 11~12、タイトル 14~16、

余白は上下左右 19mmとし、

使用する写真は 200KB 以内としてください。

皆様のご協力をお願いいたします。

『県連ニュース2022年3月 NO.536号』

発行日：2022年2月20日

滋賀県勤労者山岳連盟

TEL 080-4971-6231

〒520-0047

Email [shigarosan@gmail.com](mailto:shigarosan@gmail.com)

大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 1F

ゆうちょ銀行(店名418)

大津市市民活動センタースモールオフィス内

普通 0239956

メールボックス NO13

<http://shigarousan.jimdo.com/>

発行責任者 宮内 眞子

編集委員 古川 哲郎 村田 啓二